

# 社会科学学習指導案

日時 平成28年11月17日(木)公開授業 I

会場 3年B組教室

学級 3年B組(男子15名、女子17名、計32名)

授業者 佐々木 康隆

## 1 単元名 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済

## 2 単元について

### (1)教材観

本単元は、中学校学習指導要領社会科の「公民的分野 2内容(2)私たちと経済」の「ア市場の働きと経済」を取り扱っている。そして、ここでは、「身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させる」ことを主なねらいとしている。その内容の取り扱いについては「身近で具体的な事例を取り上げ、個人や企業の経済活動が様々な条件の中での選択を通じて行われるという点に着目させる」とある。

経済の学習では、その経済活動が、なぜ、そのような仕組みで行われているのか、どのような役割を果たしているのかを学び、経済活動が私たちの生活とどのように関わっているのかを理解し、今後どうあるべきかを考えることが大切になってくる。本単元では、商品やサービスに関する知識や情報をもとに、自分たちにとってより実のある選択をしていく重要性やそういった仕組みやそれを取り扱う際の注意点を喚起させ、自らの消費生活を向上させようとする態度を育てていく。

構成は5時間で、第1時「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」で生徒にとって身近なコンビニエンスストアの経営者の視点から消費者の行動を考えることで、経済活動が様々な条件下で選択を通じて行われていることに気づかせ、この単元への関心を持たせる。第2時「私たちの消費生活」で家計を取り上げ、収入と収入の範囲内で消費や貯蓄の配分を行っていることに着目させ、その配分を考えさせる中で消費生活のあり方について考えさせる。第3時「契約と消費生活」で私たちの消費生活が契約によって成り立っていること、契約の際の注意点を学びながら消費者主権について関心を持たせる。第4時「消費者の権利を守るために」では契約上のトラブルなど消費者問題の概要を知り、消費者の権利と義務について理解させる。第5時「消費生活を支える流通」では商品の流通経路を学習する中で、流通の役割とその合理化およびそれが消費者に与える影響について考えさせていく。

### (2)生徒観

本学級は、全体として比較的眞面目で落ち着いた雰囲気を持っている。普段の授業の様子から見ると話をしっかり聞こうとする生徒が大多数である。しかし、自ら課題を見つけ、話し合いの中でそれを深化させること、自分の考えを積極的に表現することができる生徒はまだ少ない。

年度初めのアンケートによると、この単元に興味を持っている生徒は多くなく、むしろ「難しい」という印象を抱いている生徒が多い。そこで、より身近な題材を取り入れることで、生徒が課題を自分のものとしてとらえ、考え、判断できるようにしたい。また、個人で調べたり考えたりする

場、小グループで話し合いをする場、全体で意見交流をする場を設定するなど学習形態を工夫することで学習意欲を喚起していきたい。

### (3) 研究との関わり

本研究主題「一人ひとりが成長を実感できる指導のあり方～学びの自覚を促す振り返りを通して～」の柱のひとつ、「振り返り」につながる学習課題の設定にせまるために、既習事項をいかしながら次の2点で本單元における指導の工夫をしていきたい。

一つめに、本単元の学習の見通しが意識できるような資料を最初に提示して本単元の学習課題を明確に把握できるようにすることである。生徒にとって身近な「コンビニエンスストア」を取り上げることで、興味を持たせ、次時以降の経済に関わる学習内容の指導につなげたい。

二つめに、小グループでの活動を取り入れ、発表や表現の機会を広げることで関心のあまり高くない生徒や下位の生徒がより意欲を持って参加できるようにしていきたい。

## 3 単元の目標

- (1) 身近で具体的な事例を通して、経済に対する関心を持ち、よりよい消費生活や消費者の自立について考えることができる。
- (2) 統計資料の読み取り、必要な資料の収集・選択を通して、経済に親しみ、主体的に課題を追究していくことができる。
- (3) 身近な消費生活の事例をもとに、暮らしと経済、その背景にある流通の役割、消費者の権利と課題について理解することができる。
- (4) 学習活動を展開する中で、消費活動に関する諸問題について関心を持ち自ら考えることができる。

## 4 指導と評価の計画

### (1) 単元の評価規準

社会事象への関心・意欲・態度(ア)	社会的な思考・判断・表現(イ)	資料活用の技能(ウ)	社会事象についての知識・理解(エ)
①話し合いの中で、コンビニエンスストアの立地について考え、意欲的に活動に取り組もうとしている。 ②家計についての調査などを通し、自らの消費生活を振り返るとともに自立した消費者を目指そうとしている。	①身近な事例をもとに、経済活動における選択、消費者の権利、流通の役割について多面的・多角的にとらえ、適切に表現している。 ②消費者問題の原因をとらえ、具体的な解決策を考えている。	①消費生活の課題について事例や資料を収集し、適切に選択して読み取り、自分の考えをまとめている。 ②流通の仕組みや合理化について、具体的な問題点を読み取っている。	①身近な消費生活の事例を通して、日常生活と経済の関係に気づき、経済活動の意義を理解している。 ②消費者の権利と責任、契約や流通にかかわる事柄について理解している。

(2)単元の指導計画

時間	ねらいとおもな学習活動	単元の評価規準	評価方法
1 本時	◇コンビニエンスストアの経営者になってみよう ・シミュレーションを通して、経済への興味・関心を高めている。 ・どのような立地条件で出店したいか経営者と消費者の立場から多面的・多角的に考察している。	(ア)－① (イ)－①	観察 学習プリント
2	◇私たちの消費生活 ・限られた収入の中で、よりよい支出配分と貯蓄について考え、消費生活を向上させようとする意欲が高まっている。 ・限られた条件の中で商品を選択していること、家計における収入と支出、貯蓄の関係を理解している。	(ア)－② (エ)－①	観察 学習プリント
3	◇契約と消費生活 ・消費生活における契約の意味と消費生活が契約により成り立っていることを多面的・多角的に考察している。 ・身近な事例を通して、消費者問題についての概要を理解している。	(イ)－① (エ)－①	観察 学習プリント
4	◇消費者の権利を守るために ・消費者の権利と保護の取り組みについて、また、その責任について多面的・多角的にとらえ、その解決策を考えている。 ・消費者問題と消費者の権利、消費者行政の役割について理解している。	(イ)－② (ウ)－① (エ)－②	観察 学習プリント
5	◇消費生活を支える流通 ・身近な商品の流通経路について調べ、その仕組みや合理化について資料から問題点を指摘できる。 ・流通の仕組みや役割、合理化の意義について理解している。	(ウ)－② (エ)－②	観察 学習プリント

5 本時の目標

(1)指導目標

- ①コンビニエンスストアの立地についてのシミュレーションを通し、日常の消費生活を振り返りながら、これから学習していく経済に対する関心を高める。
- ②経営者の視点で、消費者の消費行動を考えることを通して、自分たちの日常生活と経済活動に密接な関係があることに気づくことができるようにする。

(2) 本時の展開

段階	学習項目	学習活動	指導上の留意点
導入 7分	1 前時までの振り返り  2 資料の提示  3 学習課題の設定	○現代の民主政治、国会、政府、裁判所について第3章で学習してきたことを想起する。  ○おにぎり、コーヒー、学校付近のコンビニエンスストアの写真を見る。  ○資料「あるコンビニエンスストアチェーンの今年9月までの出店数と閉店数」を見る。  ○シミュレーションのための資料から本時の課題を設定する。	・資料、画用紙、マジックは予め配布しておく。  ・最も売れている品物(実物)を提示することで興味を持たせたい。 ・出店場所が経営の大切な要素のひとつであることに気づかせたい。 ・黒板に資料を掲示するとともに、同様の資料を配布する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">コンビニエンスストアの経営者になってみよう。</div>			
展開 35分	4 課題の把握  5 課題の解決	○資料のイラストや「立地」からA～Eの立地条件について把握する。  ○どこに出店するのがよいか自分の考えを学習プリントに記入する。 ○グループで出店場所について理由も含めて話し合う。 ○グループの発表を検討し、意見交換をする。 ○売り上げを伸ばすために、どのような商品に力を入れたいか話し合い、発表する。 ○発表と話し合いを踏まえ、もう一度自分で出店場所と品ぞろえについて考え、まとめる。	・立地条件の把握が自分の考えの構築、話し合いに重要になることから丁寧に行う。 ・出店を避けたい場所も記入させ、話し合いの材料にする。 ◎シミュレーションを通して経済への興味・関心が高まったか。(関・意・態)  ・具体的な商品を発表させ、工夫した点を紹介したい。  ・最初と考えが変わった生徒がいたら発表させたい。 ・コンビニの経営にはその他にも工夫しなければならないことがあることに気づかせたい。
終末 8分	6 本時のまとめ  7 本時の振り返り	○「第4章を学ぶにあたって」を読み、この後、学んでいきたいことを自分の言葉で書く。 ○本時の振り返りをプリントに記入する。	・「消費者」「商品」「企業」「税金」「国や地方公共団体」を紙板書で黒板に掲示する。 ◎自分たちの日常生活と経済活動に密接な関係があることに気づいたか。(思・判・表)

(4) 板書計画

学習課題				1 班	4 班		
コンビニ (写真)	出店数 514	閉店数 261		2 班	5 班		
給地図				3 班	6 班		
A 駅前のビルの1階…	3	5					
B オフィス街の一角…	2						
C 住宅地の中に位置し…	4						
D 交通量の多い国道に…	1						
E 駅から徒歩10分ほどの…	6						
			消費者	商品	企業	税金	国や地方公共団体

# 社会科プリント

3年 組 番 氏名

学習課題

## 1 各自で考えよう。

(1) あなたがコンビニエンスストアの経営者だったらA・B・C・D・Eのどこに出店しますか。

☆出店する場所 ( A B C D E )

選んだ理由

(2) A・B・C・D・Eのうち、出店を避けたい場所はどこですか。

★出店を避けたい場所 ( A B C D E )

理由

## 2 各グループで話し合おう。

☆グループで選んだ場所

選んだ理由・グループの意見

## 3 各グループで発表しよう。

他のグループの発表で参考となった意見

#### 4 グループで話し合いを深めよう。

力を入れたい商品	その理由
①	
②	

#### 5 各自で再検討しよう。

各グループでの話し合いと他のグループの発表を聞き、

出店するのに最適な場所は  であると考えます。

その理由は

-----

-----

#### 第4章を学ぶにあたって

私たち消費者は、商品を購入することで生活しています。コンビニエンスストアは、私たちが商品を購入する企業の一つです。企業どうしが競い合いながらさまざまな商品を生産し販売しているおかげで、私たちはより良い商品をより安く手に入れることができます。また、私たちが商品を購入するときに支払う消費税などの税金は、国や地方公共団体の収入になり、それを使って、私たちの生活に欠かせない道路や公園、学校などが作られています。

この章の学習であなたが詳しく学習したいことを書いてみよう。

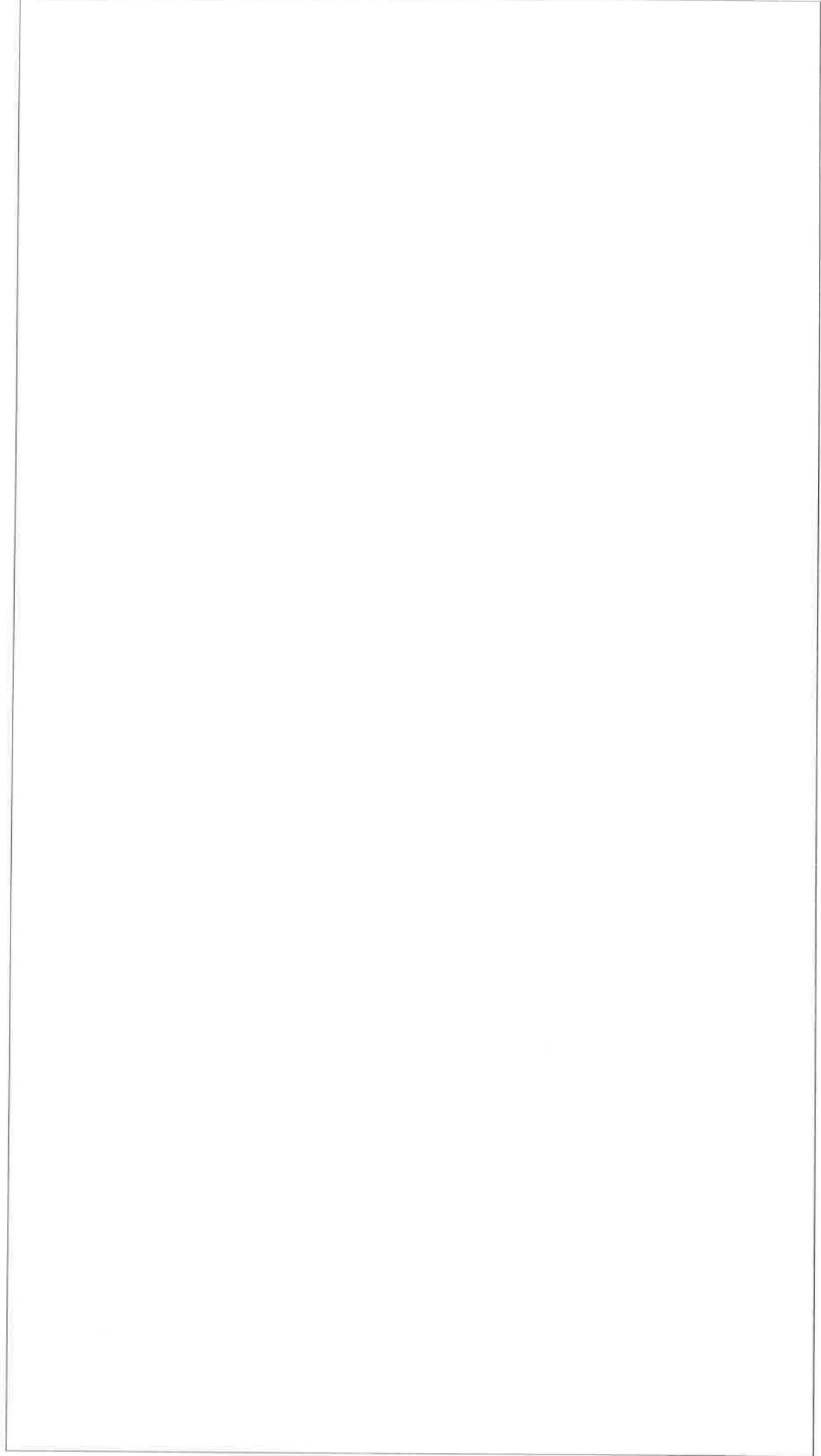
#### 振り返りチェック

- |                     | できた | できた | できた | できなかった |   |   |
|---------------------|-----|-----|-----|--------|---|---|
| ・授業の中で自分の意見を持てたか。   | 【   | 4   | 3   | 2      | 1 | 】 |
| ・話し合いに積極的に参加できたか。   | 【   | 4   | 3   | 2      | 1 | 】 |
| ・他のグループの意見を真剣に聞けたか。 | 【   | 4   | 3   | 2      | 1 | 】 |
| ・学習内容が理解できたか。       | 【   | 4   | 3   | 2      | 1 | 】 |

◇今日の時間の「振り返り」を書こう。

# トランプズルA解決策

班





# トランプルB解決策

班

